

## 論 文

# 小学生を対象とした「おこづかいちょう」を用いた消費者教育

## Consumer Education with Account Book for Primary School Students

岐阜市立長良小学校	小井戸	あや乃	Ayano Koido
岐阜大学	大 藪	千 穂	Chiho Oyabu
名古屋大学（院）	泉 谷	徹	Toru Izutani

### キーワード

小学生, おこづかいちょう, 4 週間, 消費者教育

### 要旨

本研究では、筆者らが開発した子ども用の「おこづかいちょう」(梶浦他 2020)を用いて、小学 5 年生 29 人に 1 ヶ月間の記入を実施した。金額以外の記載内容について、毎週の「今週した、おてつだいは、なにかな?」の内容と「おうちのひとからの一言」、4 週間後の「今月のお金の使い方はどうだった?」, 「これから何に、きをつけたい?」, 「おうちのひとからの一言」の内容を分類して、1 ヶ月間の「おこづかいちょう」記帳の効果について分析した。この結果、徐々にお手伝いの内容として「家族のこと」が多くなった。また 6 割の児童は自分のお金の使い方や買い方の状況を理解しており、今後、お金の使い方、買い方に約 9 割の児童が気をつけたいと答えたことから、開発した「おこづかいちょう」記帳の有効性が明らかとなった。

### I. はじめに

近年の子どもは、少額の買い物の経験を十分に積まないまま、ネットやスマホで手軽に物を購入できる環境に触れる機会が多くなっている。また、電子マネーであれば親が子どものお金の使い道を把握しやすいため、子どものお小遣いも電子マネーで渡すという傾向が増加しており、キャッシュレス化が進んでいる。しかし、カードの中には対象年齢を 12 歳以上としているものもあり、こうしたカードでは電話番号やメールアドレスなどの登録が必要であるため、本人が安易に同意して個人情報や第三者に提供されたりすることで、広告などで消費を促されるリスクも懸念されている。キャッシュレス化が進むと、このようなリスクに加えて、お金を使ったという実感が希薄になる可能性がある。そのため、買い物を振り返って、自身で評価したり反省したりすることが今まで以上に重要になる。

日本におけるスマートフォンの保有率は 65.7%と半数を超えている(総務省 2019)。また、6~12 歳における保有率は 32.9%であり、近年普及が急速に進んでいる。このようなスマートフォンの普及に合わせて、子どもがインターネット上で高額な取引を行うことも

増加傾向にある(国民生活センター2019)。今後、幼いうちから“お金は無限にでてくるものではない”ということ、お金の価値を理解することが求められる。

本論文は、子ども用に開発・作成した「おこづかいちょう」(梶浦他 2020)を小学5年生に対して1ヶ月間、記してもらい、効果について明らかにすることを目的としている。

## II. 方法

本論文では、新学習指導要領(文部科学省 2017)における小学校の家庭科の「消費生活・環境」の内容と「消費者教育の体系イメージマップ」(消費者庁 2014)で設定されている小学生期に必要な能力を明らかにした上で、開発した「おこづかいちょう」(梶浦他 2020)を用いた実践を行った。「おこづかいちょう」の記入は、買物について学ぶことができる家庭科の単元と連動させながら、新学習指導要領において指摘されている内容を取り入れている。実践したのは家庭科を学び始める公立小学校の5年生1クラス29人である。今後、より多くの児童を対象に実践する予定であるが、まずは開発した「おこづかいちょう」が子ども達にとって有効であるかを本論文で明らかにすることとした。

記入は、2019年5月の1ヶ月間である。本論文では、「おこづかいちょう」の中で、金額以外での記載内容である、毎週記載する「今週した、おてつだいは、なにかな?」、「うちのひとからの一言」の4週間分のデータと、1ヶ月のまとめのページにある「今月のお金の使い方はどうだった?」、「これから何に、きをつけたい?」、「うちのひとからの一言」に記載された内容について分析する。

## III. 結果

### 1. 新学習指導要領における小学校家庭科の「消費生活・環境」の内容

小学校家庭科の旧学習指導要領「D 身近な消費生活と環境」は、平成29年告示、令和2年度から開始されている新学習指導要領では「C 消費生活・環境」に編成された。旧学習指導要領と新学習指導要領の「消費生活と環境」のみを抜粋して比較すると(表1)、(1)物や金銭の使い方と買物のところで、特に新設された、アの(ア)の「買物のしくみや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること」と、イの「購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること」が今回の研究に関連する。

表1 旧学習指導要領と新学習指導要領での金銭にかかる記載

旧学習指導要領	新学習指導要領	備考
D 身近な消費生活と環境	C 消費生活・環境	
(1)物や金銭の使い方と買物について、次の事項を指導する。 ア 物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えること。	次の(1)及び(2)の項目について、課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境を考え、工夫する活動を通して、次の事項を身につけることができるよう指導する。 (1)物や金銭の使い方と買物 ア 次のような知識及び技能を身につけること。 (ア)買物のしくみや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。	新設
イ 身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。	(イ)身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。 イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。	
(2)環境に配慮した生活の工夫について、次の事項を指導する。 ア 自分の生活と身近な環境とのかわりに気付き、物の使い方などを工夫できること。	(2)環境に配慮した生活 ア 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。 イ 環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。	

新学習指導要領では、小学校における「買物の仕組み」の学習を踏まえ、中学校では「売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について」を学習する基礎を学ぶ。また、小学校では、「身近な物の選び方、買い方を理解」とあるが、中学校では「購入方法や支払い方法の特徴が分かり」と変化していることを考えると、小学校での身近な物の買い方、つまり店舗販売かつ現金支払いによる購入の正しい理解を踏まえ、中学校ではインターネットを含む無店舗販売といった様々な購入方法についての学習へとつなげることが分かる。金銭管理について、小学校では、「物や金銭の大切さと計画的な使い方」についての理解、中学校では「計画的な金銭管理の必要性」への理解、そして高校では「家計管理」や「生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性」についての理解が記されていることから、小学校では児童にとって身近な消費生活から学び、中学校では生活に必要な物資・サービスの購入や支払い場面を具体的に想定して学習を展開することで、高等学校における長期的な経済計画や家計収支等についての学習につながる基礎を小学校で学ぶことが分かる。また、小学校では「身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること」で、児童が生活の中で使う身近な物について持続可能な社会の構築に向けた観点も含め、多様な観点から比較し検討できるようにすることを目的としている。

本研究で開発・作成した「おこづかいちょう」を用いた実践は、2019年に実施したことから、新学習指導要領の内容を先取りした内容となっており、「おこづかいちょう」をつけることで、物や金銭の大切さと計画的な使い方、情報の活用が自然とできるように工夫している。

## 2. 消費者教育の体系イメージマップにおける小学生期に必要な能力

本節では、消費者教育の中の金銭教育について考える場合、消費者教育体系イメージマップ」での位置づけについても確認しておきたい。「消費者教育の体系イメージマップ」とは、消費者教育の重点領域を縦軸に、幼児期から高齢期までのライフステージ各時期を横軸に配置し、その交わったボックスに教育内容（学習目標）を示したマトリックス状の一覧表である。重点領域としては「消費者市民社会の構築」、「商品等の安全」、「生活の管理と契約」、「情報とメディア」の4つの領域に大きく分けられており、「活用ガイド」においては、それぞれの領域の目標として、その領域で育む力について述べられている。小学生期は「主体的な行動、社会や環境への興味を通して、消費者としての素地の形成が望まれる時期」としている。

「消費者市民社会の構築」では、「自らの消費が環境、経済、社会及び文化等の幅広い分野において、他者に影響を及ぼし得るものであることを理解し、適切な商品やサービスを選択できる力」を含む力が設定されているが、小学生期は「消費が持つ影響力の理解」では、「消費をめぐる物と金銭の流れを考えよう」、「持続可能な消費の実践」では、「自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などを工夫しよう」、「消費者の参画・協働」では、「身近な消費者問題に目を向けよう」が設定されている。

「商品等の安全」では、「商品等に内在する危険を予見し、安全性に関する表示等を確認し、危険を回避できる力」を含む2つの力として、「商品安全の理解と危険を回避する能力」の「危険を回避し、物を安全に使う手がかりを知ろう」、「トラブル対応能力」では「困ったことがあったら身近な人に相談しよう」を掲げている。

「生活の管理と契約」では、「適切な情報収集と選択による、将来を見通した意思決定に基づき、自らの生活の管理と健全な家計運営ができる力」を含む力として、「選択し、契約することへの理解と考える態度」があるが、そこでは、「物の選び方、買い方を考え適切に購入しよう。約束やきまりの大切さを知り、考えよう」、「生活を設計・管理する能力」では「物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう。お小遣いを考えて使おう」が設定されている。

「情報とメディア」では、「高度情報化社会における情報や通信技術の重要性を理解し、情報の収集・発信により消費生活の向上に役立て得る力」を含む力として、「情報の収集・処理・発信能力」があげられており、「消費に関する情報の集め方や活用の仕方を知ろう」、また「情報社会のルールや情報モラルの理解」では、「自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを知ろう」が設定されており、最後の「消費生活情報に対する批判的思考力」では、「消費生活情報の目的や特徴、選択の大切さを知ろう」が設定されている。

本論文で実践する「おこづかいちょう」は、全てが関わると考えられるが、これらの目標の特に「消費がもつ影響力の理解」と「選択し契約することへの理解と考える態度」、「生活を設計・管理する能力」の部分が「おこづかいちょう」を記帳する上で関連すると考えられる。

### 3. 「おこづかいちょう」を利用した記載内容

上記の新学習指導要領の「物や金銭の使い方と買物内容」と「消費者教育のイメージマップ」の「消費がもつ影響力の理解」と「選択し契約することへの理解と考える態度」、「生活を設計・管理する能力」の内容を踏まえて開発した子ども用の「おこづかいちょう」(梶浦他 2020)を用いて、本論文では、公立小学校の5年生1クラス29人を対象に1ヶ月間記入してもらい、金額以外の記載内容について分析した。「おこづかいちょう」に記載された金額は、家庭環境が様々であることから、今回は分析の対象としなかった。

1ヶ月間の「おこづかいちょう」の記入は、29人全員が終えることができた。表2は、全ての児童の毎週の「おこづかいちょう」の金額表以外の記載内容である、「今週した、おてつだいはなにかな?」、「今月のまとめ」のページの「今月のお金の使い方はどうだった?」、「これから何に、きをつけたい?」、「おうちのひとからの一言」に記載された内容を示している。表3は毎週記載された「おうちのひとからの一言」である。表4は、それぞれの記載内容を読み込み、分類したものである。

毎週のページの「今週した、おてつだいは、なにかな?」に関して、その内容から、まず誰に対してのお手伝いかを(対象)、「自分のこと」、「家族のこと」、「なし」に分け、お手伝いの内容として「衣生活」、「食生活」、「住生活」、「その他」に分けた。「おうちのひとからの一言」は、その内容から「感謝」、「提案・啓発」、「確認・印鑑」、「なし」の4つに分類した。また対象として「お金について」、「手伝いについて」、「小遣い帳について」、「その他」の4つに分類した。

次に1ヶ月のまとめのページの「今月のお金の使い方はどうだった?」については、人間発達プロセスの分類から(大藪・杉原 2008)、自分のお金の使い方が分かっている記述に関しては「現状把握」、お金の使い方について見直したり、考えた場合は「価値の内面化」、見直しを含めて、今後の使い方について新たな方法を考えたり、実践したという記述の場

合は「自己創造」に分類した。「これから何に、きをつけたい？」については、「お金」と「暮らし方」に分類した。「お金」については、さらに「現状」、使い方(買い方)、「貯金」の3つに分類した。「うちのひとからの一言」は、上記の毎週の「うちのひとからの一言」の分類と同様とした。

表2 「おこづかいちょう」に記載された内容例

第1週 お手伝い	第2週 お手伝い	第3週 お手伝い	第4週 お手伝い	今月のお金の使い方はどうだった？	これから何に、気を付けたい？	お家の人からの一言
ご飯の準備	血洗い	荷物運び	風呂掃除	今月のお金は使わなかったけれど、これから貯めていきたい。	すぐ欲しいものを買わず、本当に必要かどうかを考えてお金を使っていきたい	そうだね。使い方を考えることができてよかったね。
				あまり使わなかったし、すぐにいろいろなものを使わなかった。	高いものをたくさん買わない。安いものを買う。	自分で考え、今いるものかをしっかり見ることができたね。お金の大切さを使ううちに知る良い機会になるのでこの調子で続けて欲しいです。
お風呂掃除、枕掃除	ブリベットを着る、風呂掃除、枕掃除	枕掃除、風呂掃除	ご飯をよそう、お風呂掃除、枕掃除		いらぬものは買わないようにしたい。	
モップかけ	血ふき、おはぎ作り	洗い物、掃除機	掃除機	必要なものだけ買った	エコバッグなどを使うこと	印鑑
				必要な時だけお金を使った	お金を使う量を減らす。	まだまだあまり使う機会がないですね。お金について一度勉強してみよう。
パスタを茹でたり、卵を混ぜたり	卵を入れたり、お風呂掃除。	洗濯物をとったり、茹でた。	お風呂を洗ったり、ご飯を炊いた。	お金を使わない日もあったけど、友達と出かけた時にすごい使ってしまったなと思いました。	これからはあまり使わないように本気で欲しいものかを考えて買ったりしたいです。	お金を使う機会がないので、そういったことを学ぶ機会を与える場を積極的に提供して行かなければいけないですね
靴揃えをした。	ゴミ捨て	ゴミ捨て	おつかい	よくできた	買うものに気をつけたいです。	貯めることだけでなく、使い方も考えられるようになったらすごくいいと思います
庭の雑草抜き	食器を運んだ		洗い物	あまり使わないから使う時までお金を貯めたいです。	クイズであったマナーや使い過ぎず使うときはこれだけ使うというように決めてやりたいです。	お金を使う機会がないので、そういったことを学ぶ機会を与える場を積極的に提供して行かなければいけないですね
選択。洗濯物たたみ。お風呂掃除。食卓の準備。	食事の用意、風呂洗、マッサージ	お風呂洗い、洗濯物入れ、食事の支度	食事の用意、風呂洗い	全く使いませんでした。きちんと保管しました。	お祭りとかで予算を決めて、大事にお金を使いたいです。	お小遣い、一度も使わなかったね。特別なとき、本当に欲しいものがある時にとっておこうね。
血洗い	洗濯たたみ	血洗い	血洗い	よかったから、続けていきたいし、大切さを学びました。	お金の使い過ぎ。	お金を大切にできたね。
				悪かった。	一気に使い過ぎない。	
洗濯をたたむ	部屋の掃除。	荷物運び	荷物運び	よかった。	しっかりと余ったお金は貯金していきたいです。	お出かけの時にジュースなどを買うことが多かったです。貯金もできるようになるといいね。今回の勉強で、貯金箱を買うと決めて購入したので頑張ろう。
夕ご飯作り				使い過ぎた	1ヶ月で500円以上は使わない。	お小遣い帳をつけてみて、お金の使い方を振り返ることができたね。無駄遣いがないよう計画的に使いましょう。
はしわたし	遊んであげること	血洗い	服たたみ	貯めていたので、まだまだ貯められると思うから、しっかり貯めていきたいです。使い方はOKでした。	もっとお金を貯めたいと思った。あまりお金を使わない。	目標に向かって頑張っている。すごい！！
ない	×			節約した	お金を使う日が少なすぎなので、50円でもいいから少しずつ使いたいです。	印鑑
ご飯の準備	おかず(鶏団子を混ぜる)	ご飯の準備	ご飯の準備	もう少し計画的に使いたいです	たまに使いすぎる時があるので、計画的に使っていきたくいです。	買いたいものがあるときは本当に必要か一度考えてから買うようにするのいいと思います
調理をした	調理をした	お手伝いはやることできませんでした。	お父さんと一緒にご飯を作りました。	無駄なものを買わなかった。	これからはいるのかいらぬかを考えて使いたいです。	必要なものなのかの判断ができて、必要なものがどれくらい買っているのかもわかるようになったね。
食事の準備	食事の手伝い	犬のお世話、食事の手伝い	洗濯物を干すこと	しっかりといるか、いらぬかを決めて必要なものが買えた。	しっかりといる(必要)かを考えたり、自分が持っているのにまた買ってしまったことがあったから、確認してから買いたいです。(続けて)	自分で考えてお金を使うことができたね。
お風呂入れ	お風呂入れ	お風呂入れ	お風呂入れ	ちょっと使い過ぎたかなと思った	いつどこで何円使うのか決めておく。	いつどこで何円使うか決めるのが大切だね。これからはお金を大切にしていってね。
ゴミ出し	ゴミ出し、掃除機	ゴミ出し	ゴミ	使ってません	あまり使わない	本当に必要なものか、よく考えてからこれからは使うようにしましょうね。
靴を揃えたり、靴を洗った。	お皿を洗った。	野外学習がんばった。	お皿を洗った。	今月は習い事が忙しくて、お金を使いませんでした。	来月も無駄遣いのないようにしたいです。	欲しいものがあつたとき、考えてつかうようになってよかったです。
台拭き	台拭き	台拭き	屑揉み	1ヶ月でこんなに使うと思わなかった。	お金の使い方。	これからは続けてね。
お皿洗い	夜ご飯の手伝い	何もしませんでした。	夜ご飯	自分の中では、110円を使った時があったから、今度は1ヶ月缶お金を使わないようにしたいです。	お金の使い方に気をつけたいです。	
靴揃え、整理整頓	靴揃え	靴揃え	靴揃え	お金を使わないことを意識できた。	お金を無駄に使わないことに気をつけて生活することができました。	お金があるからと無駄に使うことをなく考えて生活することができました。
掃除機の手伝い	掃除機の準備を頑張りました。		掃除機の手伝いをした。	使っていない	お金の使い方やよく「かんがえたりしてできるようになりたいです。	なかなかお金を使うことがないので、少しずつでもお金の大切さ、使い方を勉強できると嬉しいです。
風呂の湯入れ		お留守番		ほしかったし、買ったものが多かった。	ほしかったを減らしたい	飲み物代が多いね
片付け	片付け	洗濯	血洗い	使ったのはそんなになかったけど、お金のことについて知れてよかったです。	お金の使い方の問題で解いた問題を使って気をつけたいです。	お金はそんなに使わなかったけど、お手伝いをたくさんしてすごい。
靴を靴箱に入れた。血を運んだ。	先週と同じように血を運ぶの手伝いしました。靴の整理も。	風呂掃除をしました。	水やりをした。(野菜)あと家の整理をしました。	使わなかったからいいけど、これからはお金の使い方に注意しないといけないと思いました。	お小遣い帳を使わなくてもあまり使い過ぎず、必要なものだけ買うようにしたいです。	お小遣い帳を習慣にすることで、お金についても学べることができよかったです。
	洗濯たたみ	牛乳とり	新聞とり	ちょっと本を買ってしまった	自分が今どれくらい持っているか、使うかに気をつけたい。	積極的に取り組んでいました。

表3 毎週の「おうちの人からの一言」

第1週 お家の人からの一言	第2週 お家の人からの一言	第3週 お家の人からの一言	第4週 お家の人からの一言
お風呂掃除と枕掃除をありがとう	木の剪定のお手伝いは本当に助かりました。ありがとう！！	お風呂掃除は普段よく見えない中でやっているの、とても助かります。ありがとう。	枕掃除は、お姉さんの枕が特に綺麗になって嬉しいです。
初めてのお小遣い帳、楽しそうに書いていたね。お手伝いも毎日できました。	毎日書けたね。お手伝いもできました。	今週の使ったお金はなかったね。お手伝いは毎日ではなかったね。	毎日お手伝いができるといいね。
お金を使う機会がなかった。	マッサージは最高です。またお願いね。	いない日は困ったので、妹と弟に頑張ってもらいました。よく手伝っていることを実感したよ。	助かりました。これからは言われる前にお願います。
今週は月一回のお小遣いの日だったので、残金が増えました。	無駄遣いせずに1週間過ごせました。	今週のクイズの答えのような気持ちを持ってお金を使いましょう。	
			これからも続けてください。お小遣いを大切に。
無駄遣いなく過ごせました。	欲しいものを買うために貯めているようです。	元気に帰ってきてくれて嬉しかったです。	無駄遣いなく過ごせてよかったです。
	今週はお小遣いを使わなかったね。えらいね。	がんばったね	今週はお金を使ったね。お金をあまり使わないようにしましょう。
無駄遣いすることがなくて良いです。	本当に使う必要があるのかしっかり考えているね。	今週もお金を使うことがなく過ごせました。	お手伝いもしっかりしてくれて無駄遣いすることもなくとても良いです。
		今週はキャンプだったから、1円も使わなかったね。	まだ暑いから飲みたいね。
	欲しい時にお金を大事に使うよう考えているのがいいね。	お手伝いすごい	いろんなお手伝いすごい
毎日忘れずに書いてすごだね。	毎日忘れず書いていました。	お金のことを考えるきっかけになるね。	中学生になってお小遣いをもらうようになったら、お小遣い帳をつけてください。
お金を上手に貯めて、本当の欲しい物や必要なものを考えて買い物できるようにしよう。	今週もお金が貯まったね。	この調子でどんどんお金を貯めよう	ありがとう
印鑑	印鑑	印鑑	印鑑
お金を大切にしてください。	お手伝いを頑張ろう。		
	なかなかお金を使うことがないね。買いたいものができた時のために、貯めておくのもいいね。		
夕食作りのお手伝いもしてくれました。ありがとう。	今週は買いたいものを買ったね。	友達と出かけた時にお小遣いを使えてよかったね。	貯金箱を買ったけれど、有意義に使えたと思います。
貯金できてすごだね。目標はいくらしようね。お手伝いもう少しがんばろう。	頑張って貯めることができているね。小さい子の気持ちを考えてくれてありがとう。		
印鑑		印鑑	印鑑
貯金が好きで必要なものかをじっくり考えられていますね。お手伝い貯金はなまる	りんごの皮むきを頑張っているね。チャレンジはいいことだから、頑張っ		頑張ったね。
敬老の日のプレゼント喜んでもらえてよかったね。	お手伝いはいつも気づいてやってくれてありがとう	今週は野外学習に行ってきたからお金を使うことはなかったね。	手伝いをたくさんしてくれてありがとう。
これからも続けるといってお金の使い方が上手になるね			
	使うことがないので、お手伝いしてしっかり貯めてください。	毎日書かないのですぐにわからなくなりました。しっかりつけてください。	

表4 「おこづかいちょう」の記載内容の分類

内容	分類①	分類②
お手伝い	自分のこと	衣生活
	家族のこと	食生活
	ない	住生活 その他
おうちの人からの一言	感謝	お金について
	提案・啓発	手伝いについて
	確認・印鑑	小遣い帳について
	なし	その他
今月のお金の使い方	現状把握	
	価値の内面化	
	自己創造	
何にきをつけたいか	お金	(お金について)
	暮らし方	現状
	なし	使い方(買い方) 貯金

### (1) 「今週した、おてつだいは、なにかな？」の項目について

毎週の「おこづかいちょう」の記載ページに「今週した、おてつだいは、なにかな？」を記載する欄がある。ここに記載された内容を「対象」と「内容」に分類した結果、表2にあるように、皿洗い、風呂洗いなど「家族のこと」をしたお手伝いが1ヶ月では58.6%と最も多く、次いで「なし」(32.8%)の順で「自分のこと」は少なかった。特に2週目は「なし」が増えたが、3週目、4週目には「なし」が減り、「家族のこと」が増え4週目は約8割の児童が、「自分のこと」ではなく、家族のために手伝いをするようになっていることが分かる。また手伝いの内容は、「その他」が最も多いが、皿ふき、ご飯をよそう、食器運びのような「食生活」に関すること、掃除等の「住生活」に関することがそれぞれ約3分の1となった。「その他」としては、肩もみ、新聞取り、妹や弟と遊んであげる、というものがあつた。4週間一度も手伝いをしなかった児童は4名(13.8%)であつた。

以上より、「おこづかいちょう」にお手伝いの内容を記載するようになってきていることから、徐々にお手伝いをするようになり、特に家族のためにするようになったという変化が見られた。

表5 「今週したおてつだい」の内容

	対 象			内 容				該当数(%)
	自分のこと	家族のこと	なし	衣生活	食生活	住生活	その他	
1週目	1(3.4)	23(79.3)	5(17.2)	2(6.9)	13(44.8)	12(41.4)	6(20.7)	
2週目	6(20.7)	4(13.8)	18(62.1)	10(34.5)	6(20.7)	2(6.8)	13(44.8)	
3週目	2(6.9)	18(62.1)	9(31.0)	2(6.9)	8(27.6)	8(27.6)	15(51.7)	
4週目	0(0.0)	23(79.3)	6(20.7)	2(6.9)	10(34.5)	10(34.5)	10(34.5)	
合計	9(7.8)	68(58.6)	38(32.8)	16(13.8)	37(31.9)	32(27.6)	44(38.0)	

注1) 合計の割合は、29人の児童の4週間分で116で割っている。

注2) 内容は複数回答である。

### (2) 「おうちのひとからの一言」の項目について

「おうちのひとからの一言」は、毎週記載してもらうもの(表3)と、1ヶ月のまとめのページにも記載箇所(表2)がある。これらを表6に見られるように、表2と表3で示した一言の内容を「感謝」、「提案・啓発」、「確認・印鑑」、「なし」の4つに分類し、コメントをした対象として「お金について」、「手伝いについて」、「小遣い帳について」、「その他」に分類した。この結果、4週間の全体では「おうちのひとからの一言」では、「なし」(33.6%)が最も多いが、「確認・印鑑」(27.6%)、「提案・啓発」(25.0%)、「感謝」(11.2%)の順となった。2週目には「なし」はなくなり、「提案・啓発」が約6割となったが、一方で、比較的容易な「確認・印鑑」も3割ある。1週目から2週目と3週目と、「確認・印鑑」の割合が増え、「なし」も3週目、4週目に増えたことから、保護者にとって毎週コメントを記載するのは大変だったことが伺える。「コメントした対象」については、「その他」が約6割を占めるが、他は、「お金について」と「手伝いについて」の「感謝」と「提案・啓発」であつた。「提案・啓発」としては、「貯めることだけでなく、使い方に気をつけるように」や「いつどこで何円使うか決める」などの記載があつた。

1ヶ月のまとめのページでの「おうちのひとからの一言」では、「提案・啓発」が約半数と最も多いが、「確認・印鑑」も4割以上となった。1ヶ月のまとめのページでは「感謝」

は見当たらなかった。これは、毎週の記載場所では、「今週した、おてつだいは、なにかな？」を記載する箇所が、「うちのひとからの一言」の上にあったことから、お手伝いに関する「感謝」が多くなったと考えられる。コメントした対象は「お金について」が6割以上と最も多く、次いで「その他」となった。毎週の場合は「その他」が多くなったが、1ヶ月のまとめでは、「お金について」のコメントが多かった。

表6 「うちのひとからの一言」

	一言の内容				コメントした対象			
	感謝	提案・啓発	確認・印鑑	なし	お金について	手伝いについて	小遣い帳について	その他
1週目	5(17.2)	4(13.8)	4(24.1)	13(44.8)	9(31.0)	3(10.3)	2(6.9)	16(55.2)
2週目	2(6.9)	18(62.1)	9(31.0)	0(0.0)	2(6.9)	8(27.6)	8(27.6)	15(51.7)
3週目	2(6.9)	2(6.9)	12(41.4)	13(44.8)	7(24.1)	4(13.8)	1(3.4)	18(62.1)
4週目	4(13.8)	5(17.2)	7(24.1)	13(44.8)	5(17.2)	6(20.7)	1(3.4)	18(62.1)
合計	13(11.2)	29(25.0)	32(27.6)	39(33.6)	23(19.8)	21(18.1)	12(10.3)	67(57.8)
1ヶ月のまとめ	0(0.0)	14(48.3)	13(44.8)	3(10.3)	19(65.5)	1(3.4)	0(0.0)	10(34.5)

注1) 合計の割合は、29人の児童の4週間分で116で割っている。

注2) コメントした対象は複数回答である。

注3) 1ヶ月のまとめの部分の割合は29人の児童数で割っている。

### (3) 「今月のお金の使い方はどうだった？」の項目について

1ヶ月のまとめのところで「今月のお金の使い方はどうだった？」を記載する。そこに記載された内容(表2)を、表7に示すように「現状把握」、「価値の内面化」、「自己創造」の3つに分類した。この結果、「きちんと保管しました」、「ほしかったし、買った物が多かった」などの「現状把握」が6割以上と最も多くなり、自分のお金の状況をしっかり把握できていることが分かる。また約3割は、「自分の中では、110円を使った時があったから、今度は1ヶ月間はお金を使わないようにしたいです」、「よかったから、続けていきたいし、大切さを学びました」など、「価値の内面化」を示していた。具体的にどのような点をどのように変えていきたいか等の「自己創造」までの記載は、記入期間が1ヶ月だったせいが見られなかった。記載なしは1人であった。

表7 「今月のお金の使い方」について

該当数(%)			
現状把握	価値の内面化	自己創造	記載なし
18(62.1)	10(34.5)	0(0.0)	1(3.4)

### (4) 「これから何に、きをつけたい？」の項目について

1ヶ月のまとめのところで「これから何に、きをつけたい？」についても記載する。表2に示すように全員が記載した。内容から「お金」と「暮らし方」に分類し、「お金」は、「現状」、「使い方(買い方)」、「貯金」の内容に分類した。この結果、ほとんどの児童は「お

金」に関することを記載していた。特に「お金を使う量を減らす」、「1ヶ月で500円以上使わない」、「お祭りとかで予算を決めて、大事にお金を使いたいです」、「いらぬものは買わないようにしたい」のように、「お金の使い方(買い方)」に関してコメントしている児童が多かった。「暮らし方」は1人記載があり、「エコバッグなどを使う事」というものであった。今回は特に新学習指導要領の(1)の物や金銭の使い方と買物の視点に注目していたが、「持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活値と環境を考え、工夫する」、「(2)環境に配慮した生活」のア「環境に配慮した物の使い方などについて理解すること」、イ「環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること」の内容まで広げて考えた児童がいたことが分かる。今後は「おこづかいちょう」記入の指導時に、この点についても指導できるとよいことが分かった。

表8 「これから気をつけたいこと」について

		該当数(%)	
お金		暮らし方	
28(96.6)			
現状	使い方 (買い方)	貯金	
2(6.9)	26(89.7)	2(6.9)	1(3.4)

#### IV. 考察

本論文では、開発した「おこづかいちょう」を用いて、小学5年生29人を対象に1ヶ月間実践してもらい、金額以外の記載内容について分析することで、開発した「おこづかいちょう」の有効性について分析した。

この結果、対象とした29人は全員1ヶ月間、「おこづかいちょう」を記入することができた。お手伝いに関しては、「家族のこと」が増えた。「おこづかいちょう」に1週間で行ったお手伝いについて記載する箇所があったということも、お手伝いが増加した要因と考えられるが、お手伝いをしようと感じたことは「おこづかいちょう」の効果があったと考えられる。また、「おうちの人からの一言」は、記載がない場合もあったが、1ヶ月後の「おうちの人からの一言」は全員記載していた。ただ1ヶ月後になると「お金について」のコメントが多く、「感謝」の項目はなかった。「おうちのひとからの一言」での「感謝」のことばによって、児童の継続につながると考えられるため、1ヶ月のまとめのページにも「おてつだい」に関する記述を設けると、お手伝いに関するコメントもあったのかもしれない。

「今月のお金の使い方」については、6割の児童が自分のお金の使い方に気付き、3割強の児童が自分の性格、使い方を見つめ直すことができていた。今後は長期間の記入を促すことで、この視点がどのように変化するかを明らかにしたい。最後に「これから何に、きをつけたい？」と記載する項目では、ほとんどの児童がお金の使い方(買い方)に言及していたが、1人ではあったが、持続可能な買物の仕方についても言及していた。このことから「おこづかいちょう」を通じて金銭管理だけでなく、ライフスタイルまで考える授業につなげていくことができることが明らかとなった。

以上より、対象人数が少なく、記入期間も1ヶ月間と短かったが、開発した「おこづか

いちょう」の記入によって、家族のことを考えた手伝いが増えたことや、エコバッグでの買物についてのコメントなどが見られたことから、当初は、今回の実践は、学習指導要領の金銭の部分や、「消費者教育イメージマップ」の「生活の管理と契約」の箇所が特に関係すると考えていたが、「消費者市民社会の構築」の部分にも関係することが明らかとなった。

「消費者市民社会の構築」では、「自らの消費が環境、経済、社会及び文化等の幅広い分野において、他者に影響を及ぼし得るものであることを理解し、適切な商品やサービスを選択できる力」とあるが、今回の実践で自分自身でお金のことだけでなく、ライフスタイルのことを考える一助になっていることが明らかとなった。今後は、長期間の記入によって、それぞれの児童がどのように変化したのかを、児童の意識、親の意識も含めて分析するための実践をしていきたい。

## 参考文献

大藪千穂・杉原利治(2008),「人間発達プロセスを基盤とした『人生設計ゲーム』開発の試み」,『消費者教育』,第28号,pp.95-105

大藪千穂(2018),「中学校・高校から学ぶ多様な主体による消費者主権教育の実践—家庭科と社会科の融合—」,文部科学省生涯学習政策局「連携・協働による消費者教育推進事業」,消費者教育のための実証的共同研究報告書

大藪千穂(2019),「高等学校家庭科と公民科における消費者市民教育と主権者教育の連携」,『消費者教育』第39冊,pp.31-41

大藪千穂・亀山貴美子・泉谷徹(2019)「協働による高等学校家庭科における消費者教育の授業開発」,『中部消費者教育論集』,第15号,pp.25-48

梶浦伶奈・小井戸あや乃・泉谷徹・大藪千穂(2020),こどもための「おこづかいちょう」の開発,『中部消費者教育論集』,第16号,pp.39-52

消費者庁(2014),「消費者教育の体系イメージマップ」,消費者教育推進のための体系的プログラム研究会,<https://www.kportal.caa.go.jp/consumer/about.html>(2020年6月30日参照)

総務省(2019)「通信利用動向調査の結果」,P6  
[http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/190531\\_1.pdf](http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/190531_1.pdf)(2019年12月12日参照)

文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 家庭編」,平成29年7月  
[https://www.mext.go.jp/content/1407073\\_10\\_1\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/content/1407073_10_1_2.pdf)(2020年4月13日参照)

横山真智子・大藪千穂(2019),「中学校技術・家庭科における消費者市民教育の実践」,『消費者教育』第39冊,pp.211-220

独立法人国民生活センター(2019),  
[http://www.kokusen.go.jp/soudan\\_topics/data/game.html](http://www.kokusen.go.jp/soudan_topics/data/game.html)(2020年5月30日参照)